



小田原市議 佐々木ナオミの 議会な日々ニュース

2018年
秋号

携帯電話 080-5484-1634
メール love-and-peace@naomi-sasaki.com

発行責任者 佐々木ナオミ 〒250-0874 小田原市鴨宮 831-7 fax 050-3488-6675 HP <http://naomi-sasaki.com/>



小田原市の豪雨対策 ----いざという時のために----

9月議会より

逃げ遅れを防ぐには？

西日本豪雨での被害拡大のおもな原因は「逃げ遅れ」でした。総務省によると、避難勧告や指示があったのに、対象者の0.5%しか避難をしていません。今回の一般質問では、「逃げ遅れ」を防ぎ、実際の避難行動に結びつけるにはどうしたらよいか、という視点で質問しました。

Q 避難のレベルは4つ。早期避難、避難準備、避難勧告、避難指示 それぞれ、どういう行動をすべきなのかがわかりにくい。避難勧告が出たら、直ちに避難をする状態だということなら、その緊張感がわかるように、防災無線で聞きとりやすい言葉だけではなく、サイレンなどを活用した方が良いのでは？

A 緊急防災説明会では、4つの危機レベルをしっかり説明している。サイレンの併用については他市町村の事例を調べて検討したい。

Q 今回小田原市が独自に設定した「早期避難」お年寄りや体の不自由な方、赤ちゃんや小さなお子さんのいる家庭など、避難に時間を要する方や避難に不安を感じる方に、豪雨が予想された時に事前に昼間のうちに避難ができるように避難所を開設するとのこと。早期避難では毛布や食品などの荷物を持ってくることになっているが、徒歩での避難が難しい場合、車での避難をしても良いのか？

A 原則は徒歩ということだが、避難の難しい方々のことを考えると、そこは柔軟に対応したい。

Q 広域避難所が豪雨災害では浸水地域になっている（例 矢作小学校）場合、最初から安全な避難所（例 鴨宮中学校）を開設できないか？また避難所から遠い方のために公民館など身近な場所を避難所として指定できないか？

A 地域の実情に合わせた避難所の設定を検討している。

Q 逃げ遅れの大きな要因の一つとして、「避難所が床が硬くてねむれない」「トイレが和式で使えない」などの居心地の悪さに不安を覚え、避難を躊躇した、というもの。現に、避難所の居心地の悪さが災害関連死を引き起こしている。避難所を快適なものにしていく必要性について、例えば、今回の台風12号の時など、とても暑かったので、体育館ではなくてクーラーのついた教室を開けたらよかったのでは？

A 確かに避難生活の快適性という視点は重要である。今後の検討課題としたい。

Q 緊急防災説明会で大きな問題だったのは、ハザードマップの信頼性。説明会場のみなさんは、豪雨で川が氾濫したら、自分の家がどうなるかが知りたい。ところが、示されたハザードマップは、24時間雨量530ミリ（今回の西日本豪雨と同レベル）の地図で、その時、他の中小河川、山王川、菊川、森戸川がどうなってるかは示されていない。もっと実用的な地図を作ってもらいたい。

A 私たちも同感で、神奈川県では、河川ごとにハザードマップを作っているけれど、それらを重ね合わせて、雨量ごとの地図ができないものか。県と相談しながら対応したい。

手話、学び始めました！

昨年12月と、そして今回、手話についての質問したことをきっかけに、わたしも手話を学び始めてます。とっても楽しい！

9月議会では、消防局長をはじめとした執行部の部長の皆様に、手話やりませんか？とお誘いしておきました！



来年は、関東ろう者大会が神奈川で行われます。たくさんのろう者の方に小田原に観光に訪れていただくためにも、手話でおもてなしができるように、がんばります♪



来年夏までに、全小中学校のすべての普通教室にエアコン設置の予算可決！

9月議会より

今年は、気温が体温以上に上る「危険な暑さ」となり、7月には愛知県での小1の熱中症による死亡事故を受け、クーラー設置が全国的な問題となりました。

小田原市での小中学校の普通教室のクーラー設置はゼロ。「教室内の暑さも尋常ではない」「扇風機ではとても対応できない」「クーラーをつけて欲しい」との声が上がりました。そこで保護者の方が中

心になりネット署名が行われ、16404筆もの署名が集まりました。

その影響もあってか、加藤市長はエアコン設置に向けた検討を行うと表明。9月議会では開会後の予算提案という異例の事態。保護者の皆様の「子ども達の命を最優先に」との思いを受け、私は予算案と陳情に賛成しました。

現在はガス方式での検討、また今後の維持管理費については、都市ガスとLPガスと違いもあり、財政負担を考慮して事業者選定を行うとのこと。

驚いたのは、政府は「早急にエアコン設置の支援を行う」と明言しているのに、未だ補助メニューの提示がないという事実。そのため小田原市では市の独自財源と借金でなんとか賄おうと努力しています。地方自治体はどこも財政が厳しいのは同じ。一刻も早い、国の補助メニュー提示を地方から国へしっかり要求すべきです。

(1) 気温の変化

【出典：気象庁】



(※ 2016~2017は2年平均)

(※ 2016~2018は6・7月が3年平均、8・9月が2年平均)

市民レポート

—まっとうな政治を県西からつくる。トークライブ0909—

9月9日夕方、立憲民主党幹事長福山哲郎氏の講演会と、神奈川4区選出早稲田ゆき衆院議員、佐々木ナオミ議員を加えて3者によるトークライブがおこなわれました。

- 会場は、小田原お堀端コンベンションホール。
- 300席が、ほぼ満員となりました。
- 3年前の参議院での安保法制の議論、すばらしい反対討論で全国に名前をひろめた福山幹事長、民主主義を足元から、地方から作り上げることが大切であるということを、立憲民主党の結党のプロセスに絡めて語ってくれました。
- 続いて、佐々木ナオミ議員から、沈滞した県西地区の政治状況をどうにかしなければという熱いスピーチ。3人のトークでは、女性の政治参加について、早稲田議員が自らの経験を語り、福山幹事長は、男女同数になるまでがんばると、党の方針について熱く語りました。
- 最後に会場のみなさんとの質疑では、野党共闘の可能性についてなど、シリアスな質問も出て、大変盛り上がりました。来年の春に向けて、政治状況が変わりそうな予感を感じさせる、よいイベントになりました。

(国府津在住 F.K)



県西から
まっとうな政治をつくる。
早稲田ゆき X 佐々木ナオミ X 福山哲郎
トークライブ 0909

